

<感染症の最近の動向について>

【海外の感染症情報】

1. 鳥インフルエンザ A (H7N9)

○平成26年3月4日現在までの状況

・ 感染確定数 378人 (WHO 3月3日付情報)

(このうち 243名…平成25年10月以降の感染者)

・ 死亡者数 77人 (中国国家衛生計画生育委員会 2月10日発表)

○感染源は未確定だが、生きた鶏、あひる等の家きん類との接触による可能性高い。

○持続的なヒトーヒト感染は認められていない。

※鳥インフルエンザ A (H5N1)

アジアや中東等でヒトへの感染報告続いているが、ヒトーヒト感染とはなっていない。

・ 感染確定者数 650人 ・ 死亡者数 386人

WHO 1月24日付情報)

2. 中東呼吸器症候群 (MERS)

平成24年9月、初めて確認された MERS (マーズ) コロナウイルスによる感染症。

重症の肺炎、下痢、腎障害等の症状を引き起こすもので、感染源は不明。

患者・感染者は中東地域居住者又は渡航歴のある者。

・ 感染確定患者数 182人 ・ 死亡者数 79人

(WHO 2月28日付情報)

【国内の感染症情報】

1. 季節性インフルエンザ (2013~2014 シーズン)

警報発令中。現在は、流行警報基準値は下回っている。

現在はB型インフルエンザの流行が目立つ。

手洗い、咳エチケット等基本的な感染対策を続けることが重要。

2. 感染性胃腸炎 (ノロウイルス等による)

警報発令中だが減少傾向。手洗い、嘔吐物の適切な処理等感染拡大防止の徹底が重要。

3. 麻しん (はしか)

平成26年3月5日までの県内報告数は20例となり、昨年1年間の20例を超えている。麻しん (はしか) はたいへん感染力の強い感染症だが、感染対策としては予防接種が有効。

4. 風しん

一昨年より流行している。妊娠中の感染により、心臓や眼、耳等に障害をもつあかちゃんが生まれてくる場合がある。妊娠を希望する人、妊婦の家族等で免疫が少ない人はワクチン接種を受けることで感染を防ぐことが可能。

※感染症の最新情報は、厚生労働省検疫所や千葉県や感染症情報センターのホームページ等でご確認ください。

厚生労働省検疫所

検索 

千葉県感染症情報センター

検索 